

2020 年度歴史地震研究会 第 3 回幹事会議事録

場所:Web 会議

日時:2020 年 10 月 23 日(金) 17:00～19:20

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 盆野(行事), 加納(広報), 行谷(編集出版), 中村(監査), 植竹(監査), 西村(新行事), 大邑(総務)書記,

1. 「歴史地震」の編集について(編集出版)

- ✓ 編集規定の変更について前回の会議で承認された。本日をもって改定日としたい。
- ✓ 改定部分や附則の表記方法などを確認し決定

2. 役員および委員名簿の確認(総務)

【資料 1】2020 年度役員名簿(案)

- ✓ 11 月 1 日から就任予定の役員について確認
- ✓ 行事委員のメンバーについて候補者に意思を確認することを決定

3. 入退会者の承認及び 2020 年度会費の受取状況(財政)

【資料 2】2. 入退会者の承認及び 2020 年度会費の受取状況

- ✓ 入会者 2 名, 2020 年度末退会者 0 名, 同休会者 0 名, 会員特典復活 2 名, 登録内容変更 2 名
→入会者を承認
- ✓ 現段階での会員数 266 名
- ✓ 2020 年度会費受取状況 210 名(会員 266 名のうちの 79%が支払い済み)
- ✓ 未納者は会員の約 2 割(年末に会費督促を予定)
- ✓ 2019 年度会費未納者 12 名は 2020 年度も未納

4. 学生会員制度の検討

- ✓ 現状でも会費は低めであり特に学生枠を設ける必要はないのではないかと
- ✓ 会誌の実費(2000 円)および会費徴収の複雑化を考えると現実的でない
- ✓ 学生を積極的に入会させるという研究会の意思表示にはなる
→学生会員制度は設けないことに決定
→高校生等の入会についてはその都度幹事会で判断することに決定

5. 2020 年オンライン伊賀大会のまとめ(行事)

【資料 3】2020 年オンライン伊賀大会のまとめ(事業報告)

- ✓ 資料にもとづき概要を報告
- ✓ 参加者 103 名(うち会員 96 名, 非会員 5 名, 招待者 2 名)
- ✓ 発表者 43 名(うち口頭発表 30 名, ポスター発表 9 名, 要旨発表 4 名)
- ✓ 収支はオンライン開催のためなし(キャンセル料発生なし)
- ✓ 感染拡大等により日程, プログラム, 開催方法, 大会名称等を変更した。
- ✓ 財政からの報告は収支が発生しなかったためなし
- ✓ 大会参加記はオンライン大会の経験記録として残すことを決定

→行事から候補者に依頼し調整

6. 2021年苦小牧大会について（新行事）

【資料4】第38回歴史地震研究会苦小牧大会の準備状況

- ✓ 2021年9月2日(木)～5日(日)に開催を予定
- ✓ 会場としてアイビー・プラザを予約し払込（許可証・使用料の領収書を確認）
- ✓ 備品・設備等の状況を確認
- ✓ 市民講演会テーマの希望としては一般的な「防災」より「しくみ」や地域および最近の話題を希望
- ✓ 巡検コースは津波堆積物、緩斜面での地すべり等を考えている
 - 地震学会ニュースレターに広報できるよう調整
 - 市民講演会の講演者については調整

7. 2022年大会の候補地（高槻）について（総務）

【資料5】2022年度第39回高槻大会(案)について

- ✓ 阿武山観測所、継体天皇陵などを巡検する案を紹介
- ✓ 伊賀での現地開催を再検討 →難しいと思われる
 - 2022年度は高槻で開催する方向で進めることを決定

8. 後援申請の規定・様式などについて

【資料6】後援名義使用の承認基準（案）

- ✓ 鹿児島大からの後援申請について →研究会として後援する事を決定
- ✓ 規定と様式の案について説明

9. 広報活動について（広報）

- ✓ メーリングリストの情報の更新
- ✓ 原稿募集の案内をHPに掲載する
- ✓ 35号のHPへのアップ
- ✓ メーリングリスト更新用のフォームを作成する
 - 会員の現況確認(所属・住所等)を年度内に行う

10. その他

- ✓ 行事委員長について業務引き継ぎをおこなう

○次回幹事会は12月25日17時～開催の予定（Web開催）

以上